

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

90号
2022
4.1

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

～ 2022 桜ライトアップ! ～

3/26(土)～4/10(日) 夕暮れとともに光が灯ります! 午後9時閉園(入園は8時まで)

※ 同時に観覧温室夜間開室! 午後5時半～午後9時閉室(入室は8時半まで)

← 京都府立植物園[公式]Twitterアカウント始めました! 見頃情報を中心につぶやいています。

京都府立植物園[公式]YouTubeチャンネル始めました! 動画で園内の様子を紹介しています。 →



第30回 球根ベゴニア展

○期間: 3月26日(土)～4月10日(日)

○場所: 観覧温室(ジャングル室)

○内容: 球根ベゴニア約300鉢を展示

◆4/3(日)球根ベゴニア展 関連講習会

観覧温室特別展示室 13:30～

「園内における球根ベゴニアの栽培方法」

講師: 植物園職員

※定員: 当日先着20名

第41回 京都盆栽展

○期間: 4月1日(金)～4月4日(月)

○場所: 植物園会館1階展示室

○内容: 盆栽約30席、80点を展示(販売あり)

東洋蘭講演相談会

○日時: 4月10日(日) 13:30～15:30 (受付13:00～)

○場所: 植物園会館2階多目的室 ○定員: 先着60名

○内容: 寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

○講師: 東洋蘭洛風会会員

第10回 サトザクラ展

○期間: 4月15日(金)～4月17日(日)

○場所: 植物園会館1階展示室

○内容: 園内にあるサトザクラを中心とした切り枝を展示
サクラ文化の紹介

第17回 桜散歩

○日時: 4月15日(金)～17日(日) 13:00～

○場所: 植物園会館前集合 ※定員: 先着30名

○内容: 園内のサクラを職員が案内 *1時間程度

※16日(土)は「土曜ミニミニガイド」を兼ねています。

バラ栽培講習会

○4月16日(土) 13:00～15:00 (受付12:30～)

「春バラの手入れ」植物園会館2階研修室

※講師: 日本ばら会京都部会会員

※参加費: 200円(別途入園料が必要)

※定員: 当日先着60名

第29回 フクシア展

○期間: 4月22日(金)～5月8日(日)

○場所: 観覧温室(ジャングル室)

○内容: フクシア約150品種200鉢を展示

アートボトル講習会(1) 募集中!!

4/14(木) 経験者の部 10:00～12:00

初心者の部 13:30～15:30

★山野草アートボトル同好会が作り方を指導 ★定員: 各10名

★参加費: 3,000円(別途、入園料が必要)

★事前申込: 往復ハガキに講習会名、受講希望の回・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★切: 4/1(金) ★会場: 植物園会館2階多目的室

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドのご案内!

毎週水曜日は・・・

植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「園長と園内散歩」

4月17日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!

植物園会館前集合: 午後2時スタート!

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!～

① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象

② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)

③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時

■ 電話075-701-0141



スマホdeガイド

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!



※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!

大人1000円 高校生750円

・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。

※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



今週の「探して！」
2022. 4. 1
90号

⑫ サイコトリア・ペピギアナ

アカネ科。中南米原産。開花期に唇のような形をした苞(ほう)が赤く色づき、花粉を運ぶハチドリなどを引きつける。開花すると口紅を塗った唇が小さな花をくわえているように見え、その姿が別名「ホット・リップス(熱い唇)」のゆえん。

⑪ ギンヨウアカシア

マメ科。オーストラリア南東部原産。黄色い房状の花を咲かせるアカシア属の総称で「ミモザ」とも呼ばれる。ミモザ(mimosa)は本来オジギソウ属を指すが、仲間のフサアカシアの葉がオジギソウに似ていたため誤って呼ばれるようになった。

⑩ メディニラ・マグニフィカ

ノボタン科。フィリピン原産。茎の先端やその付近の葉腋から長い花茎を下げ、長さ10cmほどの淡紅色の美しい苞をつける。その先にコーラルピンクの小花を多数つけ、長期間咲き続ける。別名はオオバヤドリノボタン(大葉宿野牡丹)。

⑨ ヒヤシンス

クサスギカズラ科。ギリシャ～シリアなどに分布。名前はギリシャ神話の美青年ヒュアキントスに由来する。野生種の花は青紫色であるが、園芸品種は花色も豊富。球根の表皮が花色と同じような色なので、球根を見ると概ねその花色がわかる。

① ミツマタ

ジンチョウゲ科。中国原産。下を向いて咲く花には芳香があり、小さな花が集まって半球形をつくっている。枝は3つに分枝し、これが名前の由来。強い繊維質の樹皮は、強度の高い良質な紙の原料として有名で、紙幣などにも使われている。

② ハナナ

アブラナ科。ヨーロッパ原産。江戸時代から採油目的で栽培されてきたアブラナに対し、ハナナは切り花や蕾を野菜として利用することを目的に栽培されてきた。切り花用は分枝が少ないが、食用は多く分枝するよう改良されている。

③ クリスマスローズ

キンポウゲ科。地中海沿岸に分布。欧米では冬咲きのヘレボルス・ニゲルのみを「クリスマスローズ」、春咲きのオリエンタリスを「レンテンローズ」と呼ぶが、日本では全てのヘレボルス属と園芸品種を総称して「クリスマスローズ」と呼んでいる。

④ 雪割草(ヘパティカ)

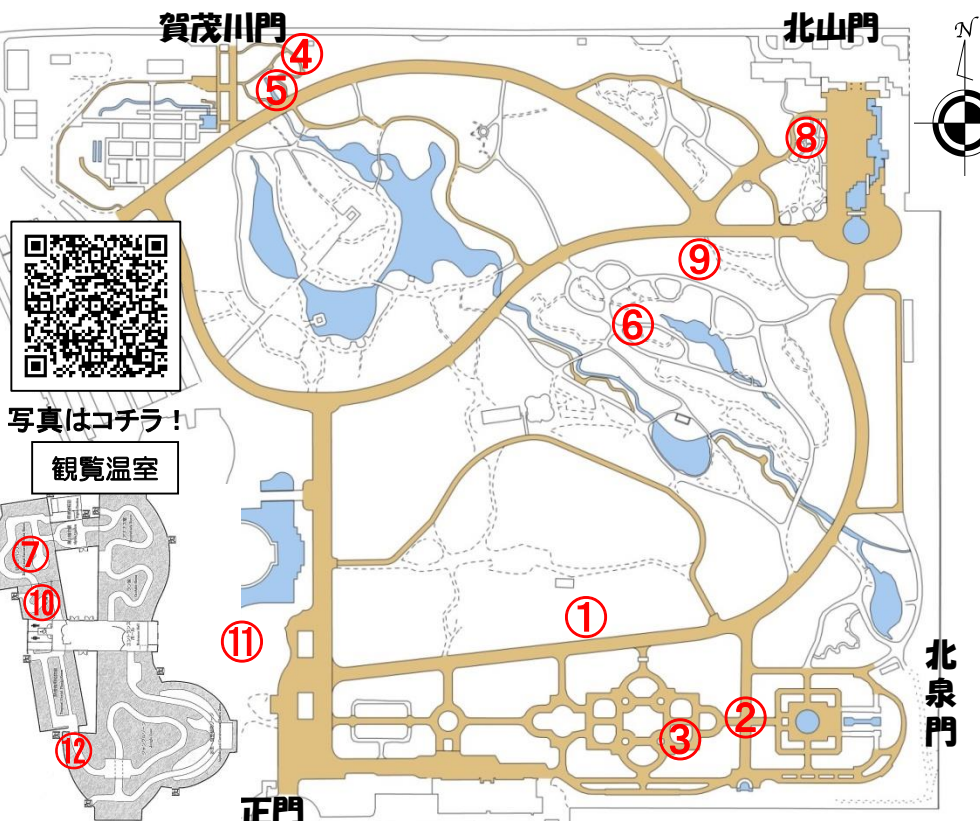
キンポウゲ科。雪解けとともに開花することが名前の由来。カタカナ表記の「ユキワリソウ」はサクラソウ科の別の植物を指す。花卉に見える部分はがく片で個体ごとに様々な色、模様があり、江戸時代から園芸植物として親しまれている。

⑤ アマミアセビ

ツツジ科。1963年に鹿児島県の奄美大島で発見され、当時は沖縄県に自生する「リュウキュウアセビ」と同じと判断された。その後、葉や花の形などが異なることが判り、2010年にDNAを解析した結果、奄美大島固有の新種と判明した。

⑥ ニリンソウ

キンポウゲ科。北海道から九州、アジア東部に分布。白い花卉に見える部分はがく片。多くは1本の茎から特徴的に2輪ずつ花茎が伸び、和名の由来となっている。まれに1輪や3輪のものもある。根茎で増えるため、群落を作ることが多い。



⑧ ムスカリ・アルメニアクム

クサスギカズラ科。アルメニアやイラン西部に分布。花茎は高さ10～30cmで基部が赤褐色を帯びる。花は濃青色の長楕円形。長さ約0.5cmで白色に縁取られている。花序の下方につく花は結実するが上方につく花は不稔性で淡青色。

⑦ ジョウニシキ(慈光錦)

ワスレグサ科。南アフリカ原産。本種はアロエの仲間の中では珍しく、葉の縁にトゲを持たない。葉は厚みがあり、長さ50cm程度になる。12～3月頃に長い花茎を立て、橙赤色～桃赤色の筒状の小花を多数つける。